

警察官・消防官 一般行政職 公務員試験対策プログラム

Program for the Civil Service Exams
to become a Police Officer, Firefighter, or Civil Servant



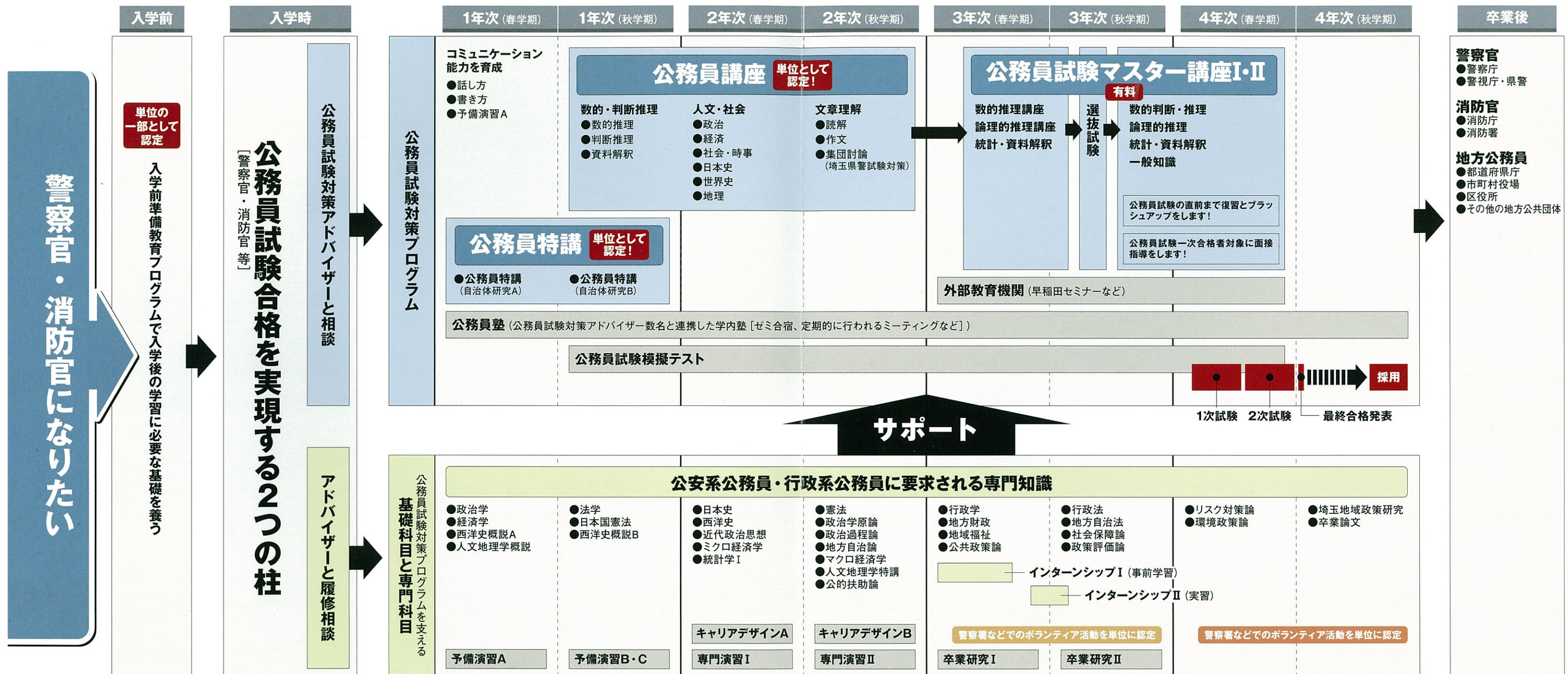
ここがポイント

在学中に公務員試験に備えることができます。
コミュニティ政策学科公務員講座は、単位として認定されます。
少人数クラス指導で試験直前まで徹底的に採用試験に備えます。

聖学院大学
政治経済学部

コミュニティ政策学科

警察官・消防官・一般行政職 公務員試験対策プログラム



警察官・消防官・一般行政職 公務員試験対策講座プログラムの特徴

コミュニティ政策学科では、2009年度以降、警察官・消防官の公務員試験対策に特化したプログラムを編成し、合格するための効率の良い学習を提供します。

また、本プログラムは、地方公務員上級（都道府県庁、市町村役場、区役所をはじめとする地方公共団体の事務職）の採用試験対策も兼ねています。

本プログラムは、コミュニティ政策学科の公務員特講・公務員講座とキャリアサポートセンターの公務員試験マスター講座I・IIから成っています。受講者は、公務員試験のための準備を1年次の春学期から開始し、4年次の6月中旬に全プログラムの課程を終了することになります。したがって、採用試験の直前まで試験対策の学習を続けることができます。なお、コミュニティ政策学科の公務員特講・公務員講座の講義科目は、正規の卒業単位として認定されますので、通常の講義課目の学習に負担をかけずに卒業を目指すことができます。

- このプログラムを修得すれば1次試験に合格する力が身につきます。加えて、2次試験の面接試験にも対応できるように、担当の教員が綿密な面接の演習も行います。
- 公務員筆記試験合格のカギは、出題される傾向が強い問題例を繰り返し解くことにあります。本プログラムの前半（公務員講座（1年次秋学期～2年次秋学期））を修得するだけでも、ひととおり試験に備えることになります。プログラムの後半部分（公務員試験マスター講座I・II※）で、もう一度、基礎から応用までブラッシュアップすることで、実力を万全のものとしします。※公務員試験マスター講座I・IIは外部の教育機関では実現できない授業料でプロの授業を受けられます。
- 警察官の場合は警視庁とその他の警察本部では出題傾向が異なること、消防官の場合は東京消防庁と政令指定都市消防（さいたま市、横浜市など）や市町村消防では出題傾向や問題の難易度が異なることを考慮し、受講生がどこの行政地区の試験を受験するか事前にアンケートをとり、どの試験にターゲットを置くかなど、このプログラムの講義内容に柔軟な工夫が施されます。
- コミュニティ政策学科のカリキュラムには、公務員試験対策プログラムとは別に、公務員試験全般において問われる、政治、経済、法、行政、地方自治、福祉等に関する基礎知識と専門知識を習得することができる講義と演習が、基礎科目および専門科目として設置されています。
- 男子の採用は飛躍的に増加していることに比べて、女子の採用は依然として厳しい状況にありますが、コミュニティ政策学科は、警視庁に採用された女子の卒業生も輩出しており（2008年度採用）、成果が現れています。

公務員試験合格への力強いバックアップ!

しっかり身につく公務員特講

東京特別区の職員による、現場のリアルな話をベースにした公務員特講。普通、役所に行っても1階のカウンター越しにしか役所を見ることができませんが、公務員特講では、内部から見た自治体や公務員の仕事について学ぶことができます。役所の内外で、自治体は、高齢者や障がい者などを対象にした福祉、ゴミ問題やリサイクル・自然保全などの環境、道路や公園整備などの都市づくり、商店街の活性化や雇用問題などの商工労働、子供の教育、市民活動や男女共同参画の推進など、人々の暮らしや仕事に必要なさまざまな業務を行っています。公務員特講を受講することにより、公務員になってどのような仕事ができるのかのイメージがふくらみます。そして、公務員になるためのヒントが得られます。公務員講座とあわせて学ぶことにより、公務員試験対策がしっかりとできます。

授業内容

公務員特講 (自治体研究A)

最近の地方自治体を取巻く状況を踏まえ、①公務員の仕事の特性、②自治体の業務の実際、③進路としての公務員などについて、事例を題材としながら学びます。自治体が社会の中でどのような役割を担い、どのような事業を展開しているのかについて、理解を深めます。

公務員特講 (自治体研究B)

六本木ヒルズなどの街づくり事業、タバコポイ捨て禁止条例、「ひこにゃん」などのゆるキャラ (ゆるいマスコットキャラクター) による地域活性化など、全国の特色ある施策の背景、効果、課題などを具体的に考えることを通じて、これからの地方自治のあり方、公的セクターの役割について実践的に考える力を養います。

Message from Graduates



2009年卒業
深谷市職員(消防)合格
その他
警視庁警察官、
東京消防庁消防官、
さいたま市職員(消防)
合格

倉林俊介さん

私は小学生の時、川に流れ助けられてもらった経験をし、その時以来、自己の危険を省みず人の命を助けるといった消防士の仕事に興味と憧れを抱き、「自分も消防士になって人の命を守りたい」と思うようになりました。聖学院大学に入り、憧れは職業観へと変わり、独学で勉強を始めました。2年次からは「数的推理」や「論理的推理」の授業を履修し、3年次には「公務員試験マスター講座I・II」を受講しました。これらのプログラムによって、試験に出る部分について効率的に学習を進めることができました。また「公務員試験マスター講座I・II」は、公務員試験の直

前まで復習とブラッシュアップをしてくれるので、モチベーションを保つことにも繋がり、受講してよかったと思います。また、勉強と並行し、体力作りも毎日欠かさず行いました。私が試験に合格できたのは「必ず消防士になって、自分の助けられた命で今度は人の命を助けたい」と心にかたく誓い、自分の夢の実現を信じ努力したからだと思います。みなさんも「自分の希望の職業に就く」という強い信念をもって頑張ってください。そうすれば必ず道は開けると 생각합니다。



2009年卒業
警察官(埼玉警察本部)
合格
増子寿さん

私が、警察官になりたいと思い始めたのは中学生の頃でした。その頃はただの夢という形ではありませんでした。就職活動を始めた4年次の春学期に参加した就職説明会で、埼玉県警と公務員試験についての説明を受けました。その時、中学からの夢であった警察官になりたいという気持ちが呼び起こされました。私は、民間の会社の就職活動もやっていたので、あまり警察官の試験についての勉強をやる暇がありませんでしたが、コミュニティ政策学科の公務員講座を受講したり、電車の中で参考書を読むなどして自信をつけていきました。

警察官採用試験では緊張してしまい、あまり自信はありませんでしたが、合格することができました。公務員講座で学んだ成果がでたのだと思います。また、警察官になるために体力づくりも行っていました。

自分がやりたいと思った仕事に就くためにあきらめずにやることで夢は叶うと思います。今警察官になれたのもあきらめないという強い気持ちをもっていたからだと思います。みなさんも悔いを残さないようがんばってください。必ず夢は叶うと思います。

面倒見のよい大学。入って伸びる大学。

聖学院大学

政治経済学部 コミュニティ政策学科

アドミッションセンター

〒362-8585 埼玉県上尾市戸崎1-1 Tel. 048-725-6191
Fax. 048-725-6891 E-mail: pr@seig.ac.jp

聖学院大学ホームページ

PC <http://www.seigakuin.jp/>

ケータイ <http://m.seigakuin.jp/>

コミュニティ政策学科ホームページ

PC <http://www.seigakuin.jp/contents/faculty/com/>

ケータイ <http://seig-com.seesaa.net/>

